

第3回 愛知県立大学貴重書展示・講演会

～『源氏物語絵色紙』と 女絵師清原雪信～

講師

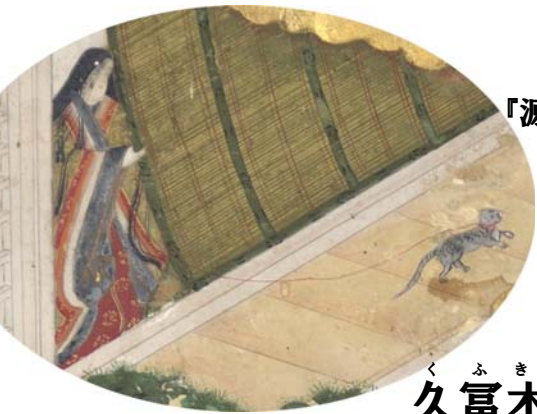
たかはしとおる
高橋亨

(名古屋大学名誉教授)



『清原雪信

三十六歌仙図色紙』



『源氏物語絵色紙』

くふきはられい
久富木原玲

(愛知県立大学日本文学文化学部教授)

資料展示

日時:2012年11月5日(月)～12月4日(火)

会場:愛知県立大学長久手キャンパス図書館

講演会で紹介する資料を展示します。ぜひご覧ください。

愛知県立大学所蔵の

貴重書がネットで見られます!



<http://opac1.aichi-pu.ac.jp/kicho/index.html>

本学では所蔵の貴重書の中でも特に貴重なものをデジタル化し、「愛知県立大学 貴重書コレクション」としてネットに公開しています。

講演会

日時:2012年11月28日(水)

13:30～16:00

会場:愛知県立大学長久手キャンパス
学術文化交流センター2階小ホール

定員80名 無料(要申込)

■申込方法

参加ご希望の方は、メールまたは電話にてお申し込みください。

申し込み時に、学内の方はお名前、学科と学年をお伝えください。学外の方はお名前と連絡先の電話番号またはメールアドレスをお伝えください。

申込締切:11月22日(木)

電話:0561-76-8841

メール:etsuran@lib.aichi-pu.ac.jp

■交通アクセス(裏面参照)

■お問合せ先

愛知県立大学学術情報センター

長久手キャンパス図書館

<http://www.aichi-pu.ac.jp/library/>

〒480-1198

愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522-3

電話:0561-76-8841

Eメール:etsuran@lib.aichi-pu.ac.jp

■主催

愛知県立大学学術情報センター

長久手キャンパス図書館

稀書の会

■展示資料

展示期間:11月5日(月)~12月4日(火)

講演会:11月28日(水)

源氏物語絵色紙(げんじものがたりえしき)



『源氏物語絵色紙』は、『源氏物語』のうち、27場面を選んで絵画化したものです。左は、源氏の甥、柏木が源氏の正妻、女三の宮をかいま見して、思いを寄せる場面。柏木は御簾の中から紐で繋がれた猫が飛び出して来たために、女三の宮の立ち姿を見ることができました。後にふたりは密通して不義の子薫が生まれて物語は暗転し、宇治十帖へと展開していきます。

写真:『源氏物語絵色紙』若菜上巻

清原雪信・三十六歌仙図色紙(きよはらゆきのぶさんじゅうろくかせんずしき)

清原雪信(1643-1682)は、世界的にみてもめずらしい、江戸前期のプロの女性画家です。狩野探幽の弟子で、父は久隅守景、母は探幽の姪にあたります。楊貴妃や琴棋書画図など中国風の絵や仏画も得意でしたが、源氏絵や歌仙絵など、王朝の文学作品を素材とした絵も多く残しています。現在の日本ではあまり知られていませんが、むしろ欧米で注目されています。江戸時代には、井原西鶴の『好色一代男』や与謝蕪村の俳句にその名が出てきますし、安藤広重もとりあげています。ここに展示する「三十六歌仙図色紙」は、その朱印から雪信の作品であることがわかり、書は「七十五翁隆正書之」とあります。

[高橋亨氏蔵]



写真:『清原雪信・三十六歌仙図色紙』

小大君(三条院女蔵人左近)

愛知県立大学 貴重書コレクション

本学では所蔵の貴重書の中でも特に貴重なものをデジタル化し、「愛知県立大学貴重書コレクション」としてネットに公開しています。

奈良絵本『岩屋の草紙』をはじめ江戸時代の俳書のコレクションなどが美しい画像でご覧いただけます。ぜひ、ご覧ください。

※本事業は愛知県立大学法人理事長特別教育・研究費の交付を受けて行われたものです。



■交通アクセス

お越しの際には公共交通機関をご利用ください。リニモ「愛・地球博記念公園」駅下車 徒歩約5分

